



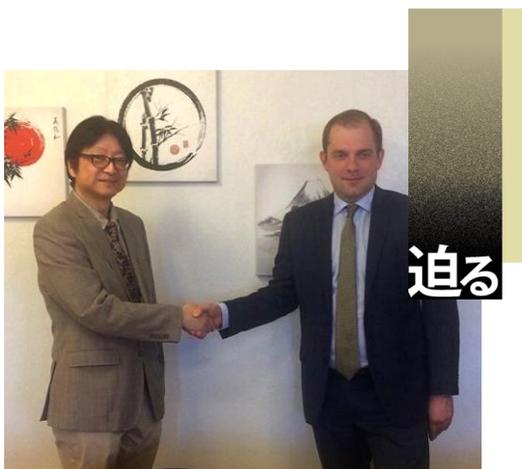
この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2023年4月16日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

ウクライナの復興 金融で支える

16日(日)＝1、3面



迫る

国際協力機構（JICA）で一般職員とは別の「専門家」として活躍する田中克さん（69）＝写真左・田中さん提供＝には「ウクライナ財務相アドバイザー」の肩書もあります。ウクライナ国内の

不良債権をどう処理していくのか。難しい問題に直面しています。田中さんは2016年1月から首都キーウに滞在し、金融業界の再建を進めてきました。しかし、ロシアがウクライナに侵攻する危険が

迫っていた22年1月、国外に脱出。現在は日本からウクライナ財務省の幹部職員や金融関係者と協議を続けています。ウクライナに戻って復興を支えたい。そう考える田中さんの心境に迫ります。



日本のソフトパワー どう活用 19日(水)＝オピニオン面

自国の価値観や文化で他国民を魅了して、外交を自分たちに有利な方向に導く力をソフトパワーと呼びます。軍事力のような直接的な力を持ちませんが、日本の漫画やアニメはさまざまな魅力を世界

中に伝えています。ロシアのウクライナ侵攻や海洋進出を進める中国など、安全保障環境が悪化する中、日本はどんなソフトパワーをどのように使うべきかを考えます。



脳とコンピューターをつなぐ技術に関する中国軍の機関紙「解放軍報」の記事



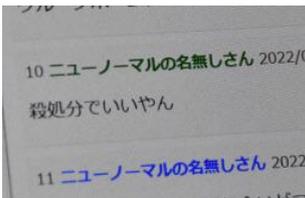
特集 ワイド

「障害者ヘイト」背景は？

18日(火)＝夕刊特集ワイド

ネットに「殺処分でいいやん」<生きる価値なし>といった書き込みをされた前橋市の障害者が先ごろ、損害賠償を求め訴訟を起こしました。障害者に対する中傷は「障害者ヘイト」と呼ば

れ、相当数の被害者がいると専門家は推測します。背景には障害のある人を生産性のない人とみなし、排除する優生思想があると指摘されています。当事者や被害者、弁護士らに取材しました。



匿名掲示板「5ちゃんねる」に書き込まれた中傷

脳とコンピューターをつなぐ技術「BMI」（ブレイン・マシン・インターフェース）が軍事応用の可能性を秘めているとして、国際的に注目され始めています。連載「拡張する脳」



「拡張する脳」

軍事応用も

19日(水)＝4面

第3部（計3回）では、中国と米国がしのぎを削っている状況や、日本の防衛装備庁が研究支援している目的などに迫るほか、こうした現状を専門家がどう見ているのかも紹介します。

竹橋の窓から

編集後記

創刊100年越えのサンデー毎日と週刊朝日の編集長が18日に対談します。週刊朝日の5月末の休刊を受け、一般の週刊誌とは一味違う「新聞社系」ならではの裏話をぶっちらける企画。オンラインなので、新生活が始まってお疲れの方も（私も東京本社販売局より異動したばかりです。その一人。よろしくお願います）、お気軽にQRからご参加ください。（中村馨）

